

令和元年度 文化芸術分野事業調査結果A

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

- 調査票Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。
- アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業
 - 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業
 - 平成30年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業

※それ以外の事業は「令和元年度 文化芸術分野事業調査結果B」に掲載されています。

調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
 - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
 - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
 - ・事業名
- 「目的」
 - ・事業で達成すべき目的
- 「内容」
 - ・事業の内容
- 「事業費」
 - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
 - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
 - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
 - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」※アンケート未実施の場合、「―」が記載されています。
 - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「実績(内容)」
 - ・30年度事業の実施状況
- 「成果」
 - ・事業の目的に対して、事業で得られた成果
- 「課題と改善点」
 - ・事業の目的に対して、不十分だった点や改善すべき点
- 「今後の方向性」
 - ・今後の事業の方向性
- 「担当課」・「担当係」
 - ・事業を担当する課・係

文化芸術		(所管課)
【分野別目標1】 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり		
1	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	アカデミー推進課
2	I don't know(能)・・・NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト～	アカデミー推進課
3	事業提携楽団によるコンサート	アカデミー推進課
4	小・中学生のための出前コンサート	アカデミー推進課
5	文の京コミュニティコンサート	アカデミー推進課
6	小・中学生のための歴史教室	アカデミー推進課
7	文京ミュージックフェスタ	アカデミー推進課
8	子ども俳句大会	アカデミー推進課
9	親子向けコンサート	アカデミー推進課
10	紙媒体による情報提供	アカデミー推進課
【分野別目標2】 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援		
1	「アートウォール・シビック」への作品展示	アカデミー推進課
2	観客参加型公演	アカデミー推進課
3	朗読コンテスト	アカデミー推進課
4	かるたの街文京を発信!	アカデミー推進課
5	まるキャンマーケット～夏の陣、冬の陣～	アカデミー推進課
6	吹奏楽アンサンブルコンテスト	アカデミー推進課
7	楽器演奏指導	アカデミー推進課
8	舞台芸術創造事業(大ホール)	アカデミー推進課
9	舞台芸術創造事業(小ホール)	アカデミー推進課
10	シビックコンサート	アカデミー推進課
11	カレッジコンサート	アカデミー推進課
【分野別目標3】 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり		
1	史跡めぐり	アカデミー推進課
2	文京ゆかりの文化人顕彰事業	アカデミー推進課
3	文の京ワークショップ	アカデミー推進課
4	新・観潮楼歌会	アカデミー推進課
5	「文の京文化発信プロジェクト」	アカデミー推進課
6	文京ふるさと歴史館友の会の支援	アカデミー推進課
7	文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	アカデミー推進課
8	森鷗外記念館解説ボランティア	アカデミー推進課
9	技能名匠認定事業	経済課
10	「来て見て体験」文京の伝統工芸	経済課
11	文京ふるさと歴史館特別展	アカデミー推進課
12	文京ふるさと歴史館収蔵品展	アカデミー推進課
13	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	アカデミー推進課
14	映像資料調査・保存事業	アカデミー推進課
15	指定文化財等の保護・保存と管理	教育総務課
16	「文の京」歴史再発見～江戸から明治～	アカデミー推進課
17	文の京ミュージアムネットワーク	アカデミー推進課
18	コンピューターによる館内閲覧システム	アカデミー推進課
19	文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	アカデミー推進課
20	森鷗外記念館ニュース・年報の発行	アカデミー推進課

【分野別目標1】 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係				
【基本的な方向性(1)】 文化芸術への興味や知識を高める																		
1	42	文03-03	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	区民が文化芸術に親しむ場や、発表の場を与える。	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施する。	予算	13,980	当初予定数(定員等)	—	84.1% (企画展)	・秋の文化祭 【実施日】華道展:9月28日～30日、茶会:9月29、30日、書道展:10月5日～13日、絵画展:10月27日～11月4日 【場所】展示室Ⅰ、Ⅱ ・各種つどい・大会 【実施日】民謡大会:6月17日、謡曲大会:9月1日、吟剣詩舞道:9月29日、合唱のつどい:1月20日、日本舞踊のつどい:2月10日、三曲のつどい:2月17日、民謡のつどい:3月9日 【場所】小ホール、謡曲大会のみ宝生能楽堂 ・企画展「新収蔵品展—区民からのおくりもの—生誕150年・没後60年横山大観とぶんきょう」 【実施日】2月3日～10日 【場所】展示室Ⅰ 【内容】区所蔵の絵画等の展示と横山大観作品の展示 ・企画展関連講演会「横山大観—時代とともに歩んだ画家、その人と芸術—」 【実施日】2月3日【場所】スカイホール ・区民能楽鑑賞会 【実施日】1月27日 【場所】宝生能楽堂	様々な事業を行うことで、区民に文化芸術に親しむ機会や、発表の場を与えることが出来た。	文化祭や各種つどいについては、参加者の固定化や高齢化の傾向があり、規参加者の開拓が課題となっている。	現状維持	区内大学への周知等、若年層への周知に力を入れ、幅広い世代が文化芸術に触れあう機会を提供していく。	アカデミー推進課	文化事業係	
						決算	13,212	実績数	5,928 人									
								申込数	—									
2	文01-04	I don't know (能) …NO (能) problem! ～みんなが親しむ「能(Noh)」プロジェクト～	鑑賞と体験の両方を行うことで、能の難解なイメージを刷新し、能へ親しむ機会を提供する。	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施する。	予算	1,048	当初予定数(定員等)	400 人	96.0%	【実施日】8月12日(日) 【場所】宝生能楽堂 【内容】能「土蜘蛛」の鑑賞と、能楽堂バックステージツアー、面や装束、楽器の体験やARマガネ体験等の体験を行った。	・難しいイメージのある能を体験を踏まえた子供向けの事業として実施することで、伝統文化を若い世代に発信することが出来た。	・昨年度と同じ内容で開催したためか、申込者数が定員に達しなかった。	現状維持	毎年演目や体験内容を変え、リピーターもより一層能についての理解を深められるような内容を検討していく。	アカデミー推進課	文化事業係		
					決算	1,017	実績数	235 人									58.8%	
							申込数	318 人									79.5%	
3	42	文03-02	事業提携団体によるコンサート	文化芸術の振興を図るため、事業提携団体による公演を実施する。	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウィンド・オーケストラの協力によりコンサートを開催する。	予算	29,629	当初予定数(定員等)	6,528 人	87.9%	【平成14年度～】響きの森クラシック・シリーズ Vol.64 5月26日(土)実施 1,680名 Vol.65 9月8日(土)実施 1,622名 Vol.66 1月12日(土)実施 1,644名 フレッシュ名曲コンサート ランチタイムコンサート 6月28日(木)実施 316名 【平成22年度～】シエナ・ウィンド・オーケストラによるコンサート 11月23日(金・祝)実施 1,087名	響きの森クラシック・シリーズ及びシエナ・ウィンド・オーケストラは共に固定客が安定化しており、定着が見られる。	さらなる顧客の獲得と定着を図ると共にファンのおすそ野を拡大し、ホールのファンを増やすことが課題となっている。	現状維持		アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー	
						決算	26,811	実績数	6,349 人									97.3%
								申込数	—									
4	42	文03-01	小・中学生のための出前コンサート	子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、事業提携する団体による出前コンサートを実施する。	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウィンド・オーケストラの協力により、区立小・中学校への出前コンサートを行う。	予算	2,268	当初予定数(定員等)	4 回	—	【平成20年度～】小学校/東京フィルハーモニー交響楽団 汐見小学校 10月15日(月)実施 450名 駒本小学校 10月16日(火)実施 350名 【平成23年度～】中学校/シエナ・ウィンド・オーケストラ 第八中学校 6月13日(水)実施 103名 第六中学校 6月15日(金)実施 388名	初めて生演奏を聴く児童・生徒もあり、毎回、高い評価を得ている。	小学校は実施を希望する学校2校、中学校は行政機構順に年2校の訪問となっているため、体験できないまま卒業してしまう児童・生徒もいることが課題となっている。また、引き続き、小・中学生のニーズにあったプログラムを実施していく必要がある。	現状維持		アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー	
						決算	2,268	実績数	4 回									
								申込数	—									
5	42	文03-01	文の京コミュニティコンサート	区民が気軽に文化芸術に親しむ機会を提供するため、区内ミューズネット施設においてコンサートを実施する。	区内ミューズネット施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを開催する。	予算	324	当初予定数(定員等)	2 回	—	【平成22年度～】 日中友好会館 10月17日(水)実施 91人 東京都水道歴史館 2月24日(日)実施 73人	ミューズネット施設を会場としたミニ・コンサートを開催し、区民にとってより身近な施設で生の演奏を聴く機会を提供することができた。観客の満足度も高く、地域のニーズにあったコンサートとなっている。	会場のキャパシティにより来場者数に制限せざるを得ない場合があり、課題となっている。また、引き続き、観客のニーズにあった公演を実施していく必要がある。	現状維持		アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー	
						決算	319	実績数	2 回									
								申込数	—									

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)		参加者 満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係			
【基本的な方向性(2)】 だれもが参加しやすい仕組みづくり																		
6	43		小・中学生のための歴史教室	歴史館の展示を通じて、小・中学生の文京区の歴史に関する理解を深める。	夏休み期間中にクイズイベントなどを実施し、参加することを契機として、歴史・文化についての興味や文京区への愛着を深める。	予算	45	当初予定数 (定員等)	—	—	90.0%	【実施期間】 7月15日～9月2日 【場所】 常設展示室 【内容】 「この字がよめる？ わがはい君文字クイズ」として、歴史館の展示物に関するクイズに回答する。	クイズの答えを探しながら、楽しくイベントに参加することで、文京区の歴史や人々の生活に興味・関心を持ってもらうことができた。	アンケート結果では、参加者が何かを作るイベントの要望もあり、工夫が必要。	現状維持	歴史館の展示から、文京区の歴史について小・中学生の理解を進める手助けとなるような企画をおこなっていく。	アカデミー推進課	文化資源担当室
						決算	41	実績数	169人	—								
								申込数	—	—								
7	43		文京ミュージアムフェスタ	本区の特徴ある文化・芸術資産に身近に触れる機会を区民に提供し、文の京ミュージアムネットワークのより一層の周知を図ることを目的に実施する。	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介する。	予算	125	当初予定数 (定員等)	—	—	—	【実施日】 12月20日 【場所】 展示室1 【内容】 ブース出展は14施設、チラシ・ポスター展示10施設が参加。	様々な施設が出展し、文の京ミュージアムネットワークの周知をすることができた。	出展施設が固定化しつつあり、入場者数も減少傾向である。	現状維持	内容をその都度検討しながら、引き続きミュージアム施設の魅力を幅広く周知するべく事業を展開していく。	アカデミー推進課	文化事業係
						決算	102	実績数	505人	—								
								申込数	—	—								
8	43		子ども俳句大会	中学生に俳句を通して自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを周知する。	区内中学校在学学生を対象に、俳句を募集し、優秀作品を発表する。	予算	42	当初予定数 (定員等)	—	—	—	【平成28年度～】 ・中学生俳句大会(募集期間10～11月) 応募数905句	多くの作品をいただき、優れた作品には記念品を贈呈した。また、作品集を発行した。	区立中学校の協力を得て、応募数が伸びた。今後とも協力関係を維持していく必要がある。	現状維持		アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	32	実績数	905句	—								
								申込数	905句	—								
9	43	文03-02	親子向けコンサート	文化芸術の振興を図るため、親子で鑑賞できるコンサートを実施する。	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により、子どもが保護者等と一緒に楽しめるコンサートを開催する。	予算	4,850	当初予定数 (定員等)	985人	—	90.5%	【平成23年度～】東京フィル・親子で楽しむ「はじめてのオーケストラ」 第1回 7月14日(土)実施 301名 第2回 7月15日(日)実施 301名 【平成23年度～】シエナ フルーツの国のおんがくパーティー 第1回 3月2日(土)実施 217名 第2回 3月3日(日)実施 233名	事業提携団体の協力を得て、親子向けのコンサートを開催した。自主制作による公演であり、観客から高い評価を得ている。	内容のリニューアル等、引き続き観客のニーズにあったプログラムを実施し、更なる顧客の増加を図ることが課題となっている。	現状維持		アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	4,850	実績数	1,052人	—								
								申込数	—	—								
【基本的な方向性(3)】 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり																		
10	44		紙媒体による情報提供	事業に関する情報提供をする。	区報や指定管理者の発行する情報紙により、文化芸術関連情報を提供する。	予算	15,464	当初予定数 (定員等)	1,200,000部	—	—	指定管理者発行の「スクエア」による文化芸術関連情報の提供	発行部数毎月100,000部 区内新聞折込配布90,000部 窓口・駅・大学10,000部 経費の半分は財団自主財源で発行	読みやすく、わかりやすい紙面づくりをする必要がある。	現状維持		アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	15,464	実績数	1,200,000部	—								
								申込数	—	—								

令和元年度 文化芸術分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

【分野別目標2】文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係				
【基本的な方向性(1)】鑑賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実																		
1	45		「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家への支援の一環として、創作活動の発表の場を提供すると共に、来庁者が身近に芸術と触れ合う機会を提供する。	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行い、同時に区民が身近に芸術に触れる機会とする。	予算	130	当初予定数(定員等)	—	—	区史写真パネル展【実施日】4月5日～26日、7月1日～27日、11月2日～29日 ・かるたパネル展【実施日】5月2日～31日、9月1日～27日 ・ミュージネットパネル展【実施日】6月2日～30日 ・筑波大学附属学校児童・生徒作品展【実施日】8月5日～31日 ・本郷美術学院作品展～未来アーティスト展～【実施日】10月3日～29日 ・悠友会第10回作品展「言葉のかわりに・・・」【実施日】12月4日～16日 ・第16回美術展【実施日】1月6日～30日 ・「三匹獅子舞と東京に残る戦災樹木」展【実施日】2月1日～27日 ・「自由が好き、発想が喜び。」展【実施日】3月3日～28日	区民に発表の場を与えると共に、年間通じて美術作品等を展示することで、来庁者が気軽に芸術と触れ合う機会を提供することが出来た。	出品者の減少、固定化が見られる。	現状維持	出品募集については幅広く周知していき、内容の充実を図る。	アカデミー推進課	文化事業係	
						決算	42	実績数	86人									—
								申込数	86人									—
2	45		観客参加型公演	文化芸術の振興を図るため、観客参加型の公演を実施する。	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、太鼓芸能集団鼓童の協力により、和太鼓の演奏体験ができる公演とワークショップを開催する。	予算	729	当初予定数(定員等)	303人	79.4%	【平成22年度～】文京シビックに“鼓童”がやってくる！親子で楽しむ太鼓ワークショップ 10月13日(土)実施 14組32名 ぶんきょう交流公演 10月13日(土)実施 313名	事業提携団体の協力を得て観客参加型の公演を開催し、実際に和太鼓演奏を体験する機会を提供することができた。小ホール公演のため、演奏者との距離が近く、迫力のある演奏が好評を得ている。	ワークショップは毎年定員以上の申し込みがあり抽選となっている。引き続き、観客のニーズにあったプログラムを提供していく必要がある。	現状維持		アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー	
						決算	729	実績数	313人									103.3%
								申込数	—									—
3	45		朗読コンテスト	文京区に足跡を残した様々な作家の作品を朗読を通して改めて接し、新たな魅力を発見していくことを目指す。	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行う。跡見学園女子大学との大学連携により実施する。	予算	1,728	当初予定数(定員等)	200人	87.2%	【平成24年度～】年1回 課題作家:有島武郎、芥川龍之介、中勘助、宮沢賢治、森鷗外、山本有三 録音審査応募者:245名、本選:10月28日 出場者:16名 観覧者:205名 会場:跡見学園女子大学プロサムホール	平成29年度及び30年度は、受付期間最終日を待たずに定員に達する状態が続いており、多くの方の関心を集めている。文京区ゆかりの作家の作品を課題作とすることで、多くの方がゆかりの作家及び作品に触れる機会が増えている。	年々、受付開始日の応募者数が増えており、元年度は開始日当日に定員に達してしまった。申込み定員の増加等の対応について、今後、検討していく必要がある。	現状維持	今後も文京区にゆかりのある様々な作家にスポットをあてて運営していく。	アカデミー推進課	文化資源担当室	
						決算	1,728	実績数	294人									147.0%
								申込数	294人									147.0%
4	文03-04		かるたの街文京を発信!	「かるた」を区の新たな文化資源と位置づけ、「かるたの街文京」の魅力を発信することで文化活動の活性化や観光客増加を目指す。	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施する。	予算	2,280	当初予定数(定員等)	—	89.0%	・文京区×ちはやふる複製原画展【実施日】3月16日～21日【場所】展示室I【内容】「ちはやふる」複製原画等の展示、競技かるたデモンストレーションや体験会、袴の着付け体験を実施 ①若台中学校【実施日】12月10日【協力団体】(一社)全日本かるた協会 ②第九中学校【実施日】12月14日、3月1日【協力団体】(一社)全日本かるた協会 ③第六中学校【実施日】1月19日【協力団体】跡見学園女子大学	「ちはやふる」に登場する文京区のスポットや、区関連の百人一首関連資料等を展示することで、「かるたの街文京」を多くの人々に周知することができた。また、区内中学校にかるた関連団体を派遣することで、生徒たちに本格的な競技かるたに触れる機会を提供することができた。	外国人や視覚障害者にも競技かるたが広がりつつある今、より幅広い人々に向けた事業が今後必要と考える。	拡充	東京2020大会に向けて、日本の伝統文化への関心が高まる中、「かるた」の魅力在海外に発信できる人材を多く創出し、新たな国際文化交流の展開にも寄与できるような事業を展開していく。	アカデミー推進課	文化事業係	
						決算	2,004	実績数	3,152人									—
								申込数	—									—
5			まるキャンマーケット～夏の陣、冬の陣～	文化芸術に触れあう機会の創出	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施する。	予算	5,038	当初予定数(定員等)	—	89%(太鼓ワークショップ)	・シャボン玉アート【実施日】6月30日【場所】文京スポーツセンター ・薪能【実施日】7月21日【場所】肥後細川庭園 ・華茶書道体験【実施日】8月26日【場所】泉寺 ・定点ピアノ【実施日】8月24、25日、11月16～22日【場所】25階展望ラウンジ ・太鼓ワークショップ【実施日】3月26日【場所】小ホール ・落書きアート【実施日】3月31日【場所】さくらまつり会場内	区内各所で様々な事業を展開することで、幅広い年齢層の人々に文化芸術に触れあう機会を提供することが出来た。	事業によって集客にバラつきがあった。	現状維持	事業内容を精査し、多くの人の参加意欲を掻き立てるような事業を展開していく。	アカデミー推進課	文化事業係	
						決算	3,914	実績数	1,486人									—
								申込数	—									—

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)		参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
【基本的な方向性(2)】文化芸術活動をする人・団体への支援																	
6	46	文03-02	吹奏楽アンサンブルコンテスト	文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動を行っている人・団体の支援を行う。	公募したアンサンブル団体に事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラの団員が演奏指導した上で、演奏の講評・表彰を行うコンテストを開催する。	予算	1,197	当初予定数(定員等)	27 団体	—	93.9%	【平成22年度～】第9回 シエナdeアン・コン！～アンサンブルコンテスト～ 12月26日(水)実施 402名(4部門・出場24団体)	平成25年度より出場団体にシエナメンバーによる2時間の事前レッスンを開始。プロからの指導ということもあり、参加団体から高い評価を得ている。平成30年度から小学生部門を新設し、参加者の幅を広げることができた。	中学校、高等学校の応募が多くある一方、大学・一般の応募が少ない状況にある。開催日時等について検討する必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	1,197	実績数	24 団体	88.9%							
								申込数	—	—							
7	46	文03-01	楽器演奏指導	文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動を行っている人・団体の支援を行う。	区立中学校の吹奏楽部員を対象に、事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員が楽器演奏指導を行う。	予算	810	当初予定数(定員等)	30 回	—	—	【平成23年度～】中学生のための吹奏楽クリニック 7月9日(月)～7月31日(火)実施 120名(全30回・区立中学校10校)	個別レッスンに近い形で実施されており、クリニックを受けた各校から高い評価を得ている。	普段の練習状況やどのような指導を希望しているか等、各校の状況について事前に細かく把握した上で、指導にあたることが求められている。	現状維持	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	810	実績数	30 回	100.0%							
								申込数	—	—							
【基本的な方向性(3)】人材の育成と活動支援																	
8	47	文03-02	舞台芸術創造事業(大ホール)	文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動を行う人材の育成と活動支援を行う。	区民を対象にオペラ公演の開催を目標とする講習会を実施し、卒業公演を開催する。	予算	9,065	当初予定数(定員等)	120 人	—	80.2%	【平成12年度～】CITTADINO歌劇団 第19期生講習会 平成30年8月～平成31年2月まで週1～2回実施 延べ56回 受講者数 キヤスト17名 合唱団116名 公演 2月17日(日)実施 1,481名	区民参加事業でありながら、オーケストラ伴奏、舞台セットを組んだ本格的なオペラ上演であり、好評を得ている。合唱団には毎年100名以上の応募があり、定着が見られる。	合唱団の応募について定着が見られるが、パートによって応募数にバラつきがあることが課題となっている。	現状維持	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	9,000	実績数	133 人	110.8%							
								申込数	—	—							
9	47	文03-02	舞台芸術創造事業(小ホール)	文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動を行う人材の育成と活動支援を行う。	区民を対象に演劇公演の開催を目標とする講習会を実施し、卒業公演を開催する。	予算	2,061	当初予定数(定員等)	15 人	—	80.0%	【平成8年度～】音楽劇ワークショップ “ぶんきょう演劇塾” 講習会 6月～2月の週2回、延べ66回実施 受講者数 16名 公演 2月3日(日)実施 442名	平成29年度からは新たな講師を迎えて内容を一新した。卒業公演では舞台手話通訳を取り入れる等により、観客からも高い評価を得ている。	引き続き、参加者のニーズにあったプログラムを提供していく必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	2,103	実績数	16 人	106.7%							
								申込数	—	—							
10	47	文03-01	シビックコンサート	文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動を行う人材の育成と活動支援を行う。	クラシック、ポップス、ジャズ等、様々なジャンルの音楽を、区内の大学及び専門学校生が演奏するランチタイムコンサートを実施する。	予算	0	当初予定数(定員等)	12 回	—	—	【平成8年度～】 日時 毎月1回開催(原則第4水曜日)12:15～12:45 会場 区民ひろば 観覧者数 延べ2,382人	平成28年度より指定管理事業として財団で実施。出演する学生へ観客の前で演奏する機会の提供となっている。また、オープンスペースでの無料コンサートであり、誰でも気軽に音楽を楽しんでもらうことができる。	音量が大きい楽器について、付近の部署への影響が課題となっている。	現状維持	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	101	実績数	12 回	100.0%							
								申込数	—	—							
11	47	文03-01	カレッジコンサート	文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動を行う人材の育成と活動支援を行う。	教育機関が集中している文京区の特徴を生かし、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークルによるコンサートを開催する。	予算	0	当初予定数(定員等)	8 団体	—	83.9%	【平成15年度～】 実施 9月8日(土) 会場 文京シビックホール小ホール 出演団体数 8団体(152名) 観覧者数 379人	平成28年度より指定管理事業として財団で実施。区内大学等の団体が参加し、実行委員会を組織するため、学校間の交流につながっている。また一般客を招待しているため、学生が広い世代に向けて演奏する機会にもなっている。	参加団体による実行委員会形式で事業運営を行うため、参加学生の当事者意識を高めることが課題となっている。	現状維持	アカデミー推進課	(公財)文京アカデミー
						決算	0	実績数	8 団体	100.0%							
								申込数	—	—							

令和元年度 文化芸術分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

【分野別目標3】「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係				
【基本的な方向性(1)】 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実																		
1	48		史跡めぐり	地域の歴史・文化財をガイドの解説を聞きながら歩いて実見することにより、文京区の歴史・文化の普及・啓発を図る。	年3回、文京ふるさと歴史館友の会との協働事業として、テーマを考え、区内及び近隣の歴史散歩を実施しています。特別展や収蔵品展など、歴史館の展示に因んだテーマでも行っている。	予算	153	当初予定数(定員等)	150人	—	—	【平成18年度～】年3回 第1回 6月8日「茗荷谷界隈の大学キャンパス探訪」47人参加 第2回 11月13日「文京さんぽ一本駒達・千駄木の細道をめぐる」49人参加 第3回 3月16日「神田上水をたどる(本郷編)」38人参加 案内/文京ふるさと歴史館友の会「まち案内」ボランティアガイド	・歴史に特化したテーマ設定を工夫し、同じ場所・史跡でも異なった楽しみや価値を見出すことができています。 ・友の会ガイドの案内はアンケートでも満足度が高いのと、固定ファンも多く、一定の評価を得ている。同時にガイドの学習成果を発揮する場ともなっている。	申し込み後と、当日キャンセルが全体の約1割ほどあるため、その対応が課題である。	現状維持	今後の更なる高齢者層の増加に伴い、健康と生きがいづくりを兼ねた事業への需要はさらに高まることが予測され、気軽に楽しみながら、QOLの向上が図れる史跡めぐりは継続していく価値があると考えます。	アカデミー推進課	文化資源担当室
						決算	145	実績数	134人	89.3%								
								申込数	265人	176.7%								
2	48	文01-01	文京ゆかりの文化人顕彰事業	森鷗外をはじめとする、さまざまな分野の文化人を顕彰し、文京区の多様な文化的資源を広く発信する。	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進める。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施する。	予算	520	当初予定数(定員等)	—	—	—	【平成26年度～】 日本画家・横山大観(生誕150年・没後60年)、嘉納治五郎(没後80年)を中心に顕彰事業を実施。 事業リーフレット発行(年1回):B4両面三つ折 7500部発行・配布 歴史講演会:12月6日「横山大観—芸術維新に臨んだ男たち—」講師:横山浩一氏(幸田露伴曾孫・横山大観記念館執行理事) 参加者:278名 会場:文京シビックホール小ホール 史跡めぐり:10月12日「横山大観ゆかりの地を辿る～湯島から谷中へ～」案内:文京ふるさと歴史館友の会「まち案内」ボランティアガイド 参加者30名 朗読コンテスト:別記No.=	・顕彰事業としては始めて美術家(日本画家)を対象として顕彰事業を行った。本区ゆかりの幅広い文化人を紹介することができた。 ・文化人ゆかりの地を実際に訪ねることや、子孫による講演を聞くことで、文化人についてより詳しく伝えることができた。	・毎年、記念の年を迎える文化人を顕彰対象としてきたが、事業実施から6年が経ち、ほぼ一巡してしまっ。今後、対象文化人の選定に新たな視点や工夫、切り口を加える必要がある。	拡充	・顕彰対象文化人として、その年に話題となった文化人や、協定締結都市と双方にゆかりのある文化人を顕彰対象とするなど、顕彰対象の範囲を広げていく必要がある。	アカデミー推進課	文化資源担当室
						決算	515	実績数	—	—								
								申込数	—	—								
3	48		文の京ワークショップ	鷗外、文学、日本語、文化などをテーマとしたプログラムを企画し実施、多くの体験を提供する。	「現代の親潮楼=交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開する。持続的な集客を図るとともに森鷗外や「文の京」を広く発信する。	予算	—	当初予定数(定員等)	210人	—	96.6%	・「夏休み読書感想文教室」全2回:講師 千葉尊子氏(全国学校図書館協議会講師) 【実施日】8月12日、8月19日 【場所】当館2階講座室 ・「一筆箋で美文字レッスンと書き方の作法」全2回:講師 むらかみかずこ氏(一般社団法人手紙普及協会代表理事) 【実施日】10月23日、11月23日 【場所】当館2階講座室 ・「文豪の自筆で学ぶくずし字」『舞姫』から『坊ちゃん』まで」全2回:講師 出口智之氏(東京大学特任教授) 【実施日】2月1日、8日 【場所】当館2階講座室	鷗外の作品や遺品を参考に、手紙やくずし字など文字を通した学びを体感、参加者の満足度も高かった。	子ども向けワークショップの申し込みが低調なので、夏休みの計画を立てる前に早期に広報に着手し、わかりやすい内容の広報を心がけていく。	現状維持	様々な年齢の方々が参加できるような企画も盛り込む。	アカデミー推進課	森鷗外記念館
						決算	—	実績数	132人	62.9%								
								申込数	150人	71.4%								
4	48		新・親潮楼歌会	幅広い芸術に触れる機会を企画、提案する。	森鷗外を中心に多くの文人たちが集い、交流した「親潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開する。	予算	—	当初予定数(定員等)	240人	—	98.0%	・「短歌を楽しむ」全2回 【実施日】10月29日、11月12日 【場所】当館講座室 ・「奥田佳道のクラシック音楽講座」全4回 【実施日】10月10日、24日、11月7日、21日 【場所】当館2階講座室	音楽、短歌と幅広い芸術に深く触れることにより、鷗外への興味や展覧会への誘客にも繋がった。	参加費が高額だったからか、参加が伸び悩んだため、次回からは回数やターゲットなどを考慮した企画を行う。	現状維持	参加者の満足度は大変高かったものの、連続講座は募集に苦戦したため、開催方法を再考する。	アカデミー推進課	森鷗外記念館
						決算	—	実績数	126人	52.5%								
								申込数	144人	60.0%								

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
						予算	決算	当初予定数(定員等)	実績数								申込数	
5	48	文01-02	「文の京文化発信プロジェクト」	各自治体と協力することで、全国の文化芸術や伝統芸能等に区民が親しむ機会を提供する。	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールする。	予算	2,928	当初予定数(定員等)	—	—	—	・魚沼キッズミュージカル「心結び」【実施日】4月15日【場所】小ホール ・啄木学級【実施日】7月6日【場所】小ホール ・かなざわ講座【実施日】12月21日【場所】スカイホール ・石見神楽【実施日】2月23日【場所】小ホール ・盛岡さんさ踊り文京区民ツアー【実施日】8月2日～3日 ・文京区・盛岡市友好都市提携調印式【実施日】2月20日【場所】ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング ・盛岡さんさ踊り体験ワークショップ【実施日】3月3日、9日【場所】多目的室 ・盛岡さんさ踊りパレード【実施日】3月31日【場所】播磨坂	様々な自治体と協力することで、全国の様々な文化芸術を区民に発信することが出来た。また、H30年度は盛岡市と友好都市提携を締結し、区民ツアーやさんさ踊りワークショップ等、新たな事業を実施し、区民に盛岡市の伝統芸能等の魅力を伝えることが出来た。	友好都市を締結した後、どのような手段でそれを住民に浸透させていくかが課題である。	拡充	令和元年度には金沢市と友好交流都市協定を締結するため、より一層、住民レベルの交流に力を入れていく。	アカデミー推進課	文化事業係
						決算	2,577	実績数	1,550人	—								
								申込数	—	—								

【基本的な方向性(2)】「文の京」の伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援

6	49		文京ふるさと歴史館友の会の支援	文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図る。	・活動場所の提供、主催事業「まち案内」の受付取次、自主事業への助言・協力などの支援を行っている。	予算	99	当初予定数(定員等)	—	—	—	【平成3年度～】 友の会自主企画事業(講演会・発表会3回、史跡めぐり・見学会等7回)、役員会(月1回)、会報・花時計発行(年4回)、まち案内ボランティアガイド(30回参加者:595名)、石碑調査協力(教育委員会事業)ほか	・歴史館の協力団体として、自主的な活動が円滑かつ充実して行われている。 ・歴史館主催事業に対して友の会からの積極的な協力を得られている。 ・友の会主催事業において歴史館への誘客が効果的に行われている。	・新規会員を増加させるため、効果的な広報活動を検討する必要がある。	現状維持	現在、非常に良好な関係で相互の事業協力が行われている。今後も引き続き、より良い協働関係を維持するため、様々な支援を行っていく。	アカデミー推進課	文化資源担当室
						決算	95	実績数	274人	—								
								申込数	22人	—								
7	49		文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	ふるさと歴史館友の会会員有志による解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図る。	毎週土日の午後1～5時に2名、また団体等からの希望日時に、ふるさと歴史館内の展示内容について、来館者に声を掛け、文京区の歴史について関心を深めてもらうガイド案内を行う。	予算	495	当初予定数(定員等)	—	—	—	【平成25年度～】 毎週土・日曜午後、事前申込により随時実施(平成30年度年間従事日数:土日祝/100日、平日/6日)、ガイド:18名 延べ利用人数/657名	・ガイドから積極的に来館者に声かけを行うなど、利用促進を図っており、利用者の理解が深まるとともに、多くの感謝の言葉をいただいている。 ・ガイド就任時や定例の研修を行うことでガイドのスキルアップを図り、また解説活動がガイドの学習成果の発表の場ともなっている。	・ガイドの利用者増に向けた周知広報が必要である。 ・ガイドのさらなるスキルアップや、新しい人材の育成、確保が必要である。	現状維持	今後もガイド活動を通じて区の歴史・文化を来館者にわかりやすく伝えていくとともに、ガイド自身の学習や発表の場としての活動を支援していく。	アカデミー推進課	文化資源担当室
						決算	360	実績数	18人	—								
								申込数	—	—								
8	49		森鷗外記念館解説ボランティア	来館者への解説と共に、ボランティア自身のスキルアップ、文京区の観光振興に寄与する。	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進する。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図る。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	【平成25年度～】 毎週土・日曜午後、事前申込により随時実施(平成30年度年間従事日数:土日祝/115日)、ガイド:15名 延べ利用人数/823名	アンケートの自由回答欄には、分かりやすかった、また利用したいという意見も多かった。	展示室では、解説の声が大きいという意見があったり、参加者が多く声が聞こえない、という意見、両方があるため、都度、柔軟な対応が必要である。	現状維持	多くの方にご利用いただけるよう、研修を重ねスキルアップを図る。	アカデミー推進課	森鷗外記念館
						決算	—	実績数	823人	—								
								申込数	—	—								
9	49		技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図る。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図る。	永く同一職業に従事し、経験が豊かで、物を造る技術が非常に優れ、製作物に信頼性があり、かつ、後進の指導及び育成に積極的な方を技能名匠者として認定する。	予算	360	当初予定数(定員等)	7人	—	—	文京区技能名匠者として1名を認定した。	文京区技能名匠者を認定したことで、ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ることができた。	事業実施当初に比べ年度ごとの認定者数が落ち着いてきている。更なる事業周知に努めたい。	現状維持		経済課	産業振興係
						決算	127	実績数	1人	14.3%								
								申込数	1人	14.3%								
10	文02-01		「来て見て体験」文京の伝統工芸	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ものづくりに関心のある区民や国内外の観光客の集客を図り、伝統工芸の魅力を発信する。	毎月2回不忍通りふれあい館で「来て見て体験」文京の伝統工芸を実施する。	予算	3,381	当初予定数(定員等)	24回	—	—	毎月2回、計24回不忍通りふれあい館でイベントを実施した。	来場者数、体験者数ともに昨年度より増加し、広く伝統工芸の魅力を発信することができた。	今後も事業周知に力を入れ、更なる集客に努めたい。	現状維持		経済課	産業振興係
						決算	2,723	実績数	24回	100.0%								
								申込数	—	—								

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係				
【基本的な方向性(3)】文化資源の再発見と保存・活用の推進																		
11			文京ふるさと歴史館特別展	館蔵資料に加えて、他の博物館施設などから資料を借用して、本区の歴史や文化、ゆかりの人物を紹介し、文の京の魅力を発信する。	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催する。	予算	5,937	当初予定数(定員等)	—	90.0%	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催する。	文京区史をはじめとする、過去の刊行物・書籍等では取り上げられる機会が無かった歴史や文化を再発見し、周知することができた。	開館から四半世紀を経過し、来館者数が頭打ちの傾向にあり、新規来館者の増加について検討する必要がある。	現状維持	これまで光のあたりにくかった文化資源の発掘と活用に向けて、来館者のアンケートなどを元として改善点を抽出し、より魅力ある事業としてゆきま。	アカデミー推進課	文化資源担当室	
						決算	4,751	実績数	3,837人									
								申込数	—									
12			文京ふるさと歴史館収蔵品展	ふるさと歴史館の資料を活用し、普段展示できない館蔵資料を紹介することで、集客につなげる。	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催する。	予算	829	当初予定数(定員等)	—	90.0%	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催する。	文京区の歴史や文化に関わる資料をテーマに沿って展示し、館蔵資料の多様性を周知することができた。	展示方法や展示解説などで、改善する余地がある。	現状維持	館蔵資料をさまざまなテーマや多角的な視点で展示・活用することで、地域資料の価値の再発見を進めていく。	アカデミー推進課	文化資源担当室	
						決算	807	実績数	2,579人									
								申込数	—									
13			森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の功績を普及し後世へ伝え、文化芸術を教授する。	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	95.0%	平成30年は、はじめての出会い・新しい発見など「地への誘い」を意識した特別展を2回、鷗外に関する興味を深める「地の探求」を目指した通常展期間中のコレクション企画を2回展開した。年間テーマを「旅」とし、鷗外の経験や作品を通して、場所や時空を超えた様々な鷗外の「旅」を紹介した。	鷗外の残した作品以外にも、行動や姿勢、多くの側面を展覧会を通して伝えることができた。	来館者や研究者からの評判は良好だったが、報道機関等に取り上げられる機会が少なく、広報が進まなかったため、今後は展覧会タイトル等に工夫をする。	現状維持	特別展、コレクション展と内容を見極め、新たな側面から鷗外を顕彰できるようにする。	アカデミー推進課	森鷗外記念館	
						決算	—	実績数	20,288人									
								申込数	—									
14			映像資料調査・保存事業	貴重な映像資料を地域の文化資源として後世に残すことを目的に実施する。	貴重な映像資料を地域文化資産として後世へ継承するため、区民等から区内の過去の情景や風俗等が記録されている8mm・16mmフィルムを収集し、デジタル化による保存作業を行う。また、これらの映像資料を20分程度の映像作品として編集・加工し、BGMやナレーションを加えた上でDVD化する。	予算	0	当初予定数(定員等)	0	—	H30年度は新たに映像を収集したり活用することにはせず、現在保持しているものの保存に努めた。	外部からの問い合わせに対し、貸出の可否や手続きを随時対応している。	特になし	現状維持	引き続き、現在保持している映像利用の保存及び管理を行っていく。	アカデミー推進課	文化事業係	
						決算	0	実績数	0									
								申込数	0									
15		文01-05	指定文化財等の保護・保存と管理	指定文化財を保護し、広く区民に周知していく。	文化遺産等の維持・保全と活用のため①～③を行う。 ①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付する。 ②区指定文化財を調査・記録し、保護に努める。 ③区内の文化財を広く区民に周知するとともに、区民の文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設を行う。	予算	26,205	当初予定数(定員等)	125件	—	①補助金の交付申請:14件 22,759千円 奨励金の交付申請:71件 1,230千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付:33件 ③文化財・坂道標示板:移設1基、建替3基	①補助金の交付申請があったところに対しては、補助金の支払いを行った。 奨励金の交付申請があったところに対しては、奨励金の支払いを行った。 ②事業計画を送付したところ、6件の補助金申請の希望があった。 ③塀の建替に伴う標示板の移設及び古くなった等の標示板の建替を行った。	①今後も、補助金及び奨励金の交付申請があったところに対して補助金及び奨励金の交付を行っていく。 ②事業計画を今後も所有者に送付し、指定文化財の確認を行っていく。 ③文化財及び坂道標示板の維持管理を実施し、必要であれば建替等を行っていく。	現状維持		教育総務課	文化財保護係	
						決算	25,302	実績数	95件									76.0%
								申込数	—									—
16			「文の京」歴史再発見～江戸から明治～	江戸から明治へ、時代が移り変わって150年の節目を迎える年に、文京区に屋敷を構えていた大名に関する事業を展開することで、区の観光資源の成り立ちや歴史の再認識を行う。また、大名の地元の自治体と連携することで、新たな自治体連携の一助とする。	①「文の京」歴史再発見全国の大学生から区と関わりのある大名家に関するレポートを募集する。 ②殿様サミット区と関わり深い大名家等の当主らを招いたシンポジウムを開催する。	予算	1,485	当初予定数(定員等)	372人	84.0%	・「文の京」歴史再発見レポート募集【募集期間】5月25日～9月10日【応募件数】11件・殿様サミット【実施日】11月4日【場所】小ホール(パブリックビューイングを区民ひろばで実施)【登壇者】徳川正氏、阿部正徳氏、細川護光氏、前田利祐氏	殿様サミットには多くの方からの申込があり、急遽開催したパブリックビューイングも満席になるなど、多くの人々に区の歴史や大名家との繋がりを知ってもらうことが出来た。	レポート募集については応募件数がわずか1件に留まり、事業の趣旨を広く周知することに課題が残った。	終了	H30年度単年度事業のため、終了した。	アカデミー推進課	文化事業係	
						決算	1,090	実績数	348人									93.5%
								申込数	1,553人									417.5%

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)		参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
【基本的な方向性(4)】文化資源に関する情報収集・整理と発信																	
17	51		文の京ミュージアムネットワーク	本区の特徴ある文化・芸術資産に身近に触れる機会を区民に提供し、文の京ミュージアムネットワークのより一層の周知を図ることを目的に実施する。	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネット)として連携し、各施設の特徴や個性を発信する。	予算	2,409	当初予定数(定員等)	—	—	・ミュージアムネット会議 【実施日】6月22日【場所】スカイホール ・ミュージアムマップ2018-2019の発行 【部数】日本語版:60,000部、英語版:5,000部 【発行時期】日本語版12月、英語版2月 ・ミュージアムフェスタ 【実施日】12月20日【場所】展示室1 【内容】 ブース出展は14施設、チラシ・ポスター展示10施設が参加。	ミュージアムマップは、各加盟施設のほか、25階展望台、ドームホテル、東京都庁、台東区上野美術施設など区内外に広く配架し好評を得ており、広くミュージアム施設の魅力を発信することが出来ている。	ミュージアムフェスタは出展施設が固定化しつつあり、入場者数も減少傾向である。	現状維持	内容をその都度検討しながら、引き続きミュージアム施設の魅力を幅広く周知するべく事業を展開していく。	アカデミー推進課	文化事業係
						決算	1,703	実績数	505人	—							
								申込数	—	—							
18	51		コンピューターによる館内閲覧システム	地域の歴史や文化資源に関する情報を集約し、ふるさと歴史館来館者が、自身で知りたい情報を閲覧できる環境を提供する。	文京ふるさと歴史館の館内閲覧システムにより、本区の豊富な文化遺産の情報を発信し、区民や研究者の調査・研究活動に資することを旨とする。	予算	6,447	当初予定数(定員等)	—	—	平成30年度はサーバー1台、PC7台プリンター2台外PC機器の入替えを実施した。 閲覧用コンテンツに間違い探しと双六、定点観測の新規撮影データを追加した。	処理スピード及び操作性を向上させ、より使いやすい仕様とした。 多くの来館者が利用している。	開館以来使用しているコンテンツが一部残っており、現在の技術に適用した仕様への変更が求められている。	拡充	現在は、古い技術により構築されているシステムを徐々に新しい記述への構成に変更している。これらの変更が終了した後は、新しいコンテンツの開発を検討する必要がある。	アカデミー推進課	文化資源担当室
						決算	6,418	実績数	—	—							
								申込数	—	—							
19	51		文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	文京ふるさと歴史館の事業や調査研究成果を紹介する。	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知する。	予算	415	当初予定数(定員等)	6,500部	—	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知した。 30年度実施の特別展・収蔵品展等の各種事業、資料収集、調査研究成果等を掲載した。また年報の巻末には館蔵資料である高崎屋(渡辺家)資料目録を掲載した。	区内施設・関係機関・来館者などに事業の周知ができた。	若干、残部があったので、今後は積極的に配布するように努める。	現状維持	ふるさと歴史館の事業や調査研究成果等を紹介するものとして、毎年作成する。	アカデミー推進課	文化資源担当室
						決算	392	実績数	6,500部	100.0%							
								申込数	—	—							
20	51		森鷗外記念館ニュース・年報の発行	森鷗外記念館の事業調査研究成果等を紹介する。	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知する。	予算	—	当初予定数(定員等)	24,000部	—	森鷗外記念館における展覧会告知・報告、イベント等の活動報告、所蔵資料の「紹介」を掲載した。	区内施設・関係機関・来館者などに事業の周知ができた。	発行部数が限られているため、協力先等へは必要枚数が必ず届くよう調整している。	現状維持	森鷗外記念館の事業や調査研究成果等を紹介するものとして、毎年4回作成する。	アカデミー推進課	森鷗外記念館
						決算	—	実績数	24,000部	100.0%							
								申込数	—	—							